

u-Japan大賞 総務大臣表彰

1 大賞(1件)

サービス・システム名	概要
「電子タグによるベッドサイド安全管理システム」 (秋田大学医学部附属病院)	注射薬やリストバンドに電子タグを使い、無線 LAN で電子カルテとリアルタイムに連携して医療ミスを防止するシステムを実用化。日々の診療で効果を発揮し、ユビキタスネット技術が医療安全の向上に貢献。

2 ライフ部門賞(2件)

(五十音順)

サービス・システム名	概要
「地域密着型データ放送(なんでもテレビ)」 (株式会社嶺南ケーブルネットワーク)	地域のケーブルテレビ局として、市役所や町内会、学校などからのお知らせ、ホームページの地域情報など、市民の生活に密着した情報をデータ放送で提供する地域密着型データ放送サービスを展開。
「地域を担う人材育成のための学習サポート事業」 (福島県教育委員会、株式会社ベネッセコーポレーション)	公教育の新たな在り方のモデル事業として、過疎・中山間地域の生徒の学習意欲と教員の指導力の向上を図る取組みとして、「eラーニング」を中心として「全体勉強会」、「教職員研修」等を実施。

3 ビジネス部門賞(2件)

(五十音順)

サービス・システム名	概要
「シンククライアントによるフリーアドレス、高セキュリティ新ワークスタイルシステム」 (株式会社日立製作所)	ホワイトカラーの生産性やモチベーションの向上を目指し、シンククライアントや IP 電話等を導入して、ユビキタスな業務を実現。高セキュリティ性の確保、業務の効率化による提案力の向上、スペース効率の向上などに貢献。
「FOMAテレビ電話アルコールチェックシステム」 (株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ)	第三世代携帯電話 FOMA のテレビ電話機能を使い、離れた場所にいる運転手とリアルタイムに対面確認できることに加えて、アルコールセンサーを FOMA に接続して測定データを自動で送信し、営業所の管理者が即座に結果を確認可能。